



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社日本ケアサプライ

上場取引所 東

コード番号 2393 URL <http://www.caresupply.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 博臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栃木 清一郎

TEL 03-5733-0381

四半期報告書提出予定日 平成26年1月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,015	11.4	836	△13.9	849	△13.7	461	△21.7
25年3月期第3四半期	7,197	7.6	971	24.9	985	17.8	590	44.3

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 463百万円 (△22.1%) 25年3月期第3四半期 594百万円 (41.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	29.73	—
25年3月期第3四半期	37.98	37.98

平成25年10月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,633	9,635	75.9
25年3月期	12,794	9,532	74.0

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 9,593百万円 25年3月期 9,473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2,200.00	2,200.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。これに伴い、26年3月期(予想)の期末配当については、当該株式分割の影響を考慮しております。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	9.8	1,250	9.2	1,260	7.9	700	1.5	45.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。これに伴い、1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) - 、 除外 — 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	16,342,400 株	25年3月期	16,342,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	804,400 株	25年3月期	804,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	15,538,000 株	25年3月期3Q	15,533,200 株

平成25年10月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました<sup>が</sup>、前連結会計年度の期首に当該株式分割<sup>が</sup>行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策と日銀の金融緩和の効果により、企業収益の改善や個人消費の持ち直し、雇用環境の改善など景気回復の動きがみられておりますが、消費税増税に伴う消費の低迷など景気の減速が懸念されております。

介護業界におきまして、高齢者人口の増加と共に、市場の拡大が見込まれております。一方、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、介護保険制度では、これからの高齢社会を支える仕組み作りとして、地域包括ケアシステムの構築を目指しておりますが、介護給付は、今後も増え続けることが見込まれております。このような状況に対し、内閣の社会保障制度改革国民会議の審議結果を踏まえ、国会では「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」が成立し、所得に応じた利用者負担の在り方や要支援者に対する介護予防事業の市町村への段階的な移行など、2015年度の介護保険法の改正に向けた道筋が示されました。

こうしたなか、当社グループは、「強固な収益基盤作り」と「次なる成長に向けた事業領域の拡充」の実現に向け、各種施策に取り組み、更なる成長を目指してまいりました。

当社が中心に事業展開する福祉用具サプライ事業につきましては、当社の顧客となる福祉用具貸与事業者への迅速な対応など充実したサービスを行うため、引き続き、営業拠点の新設を推進し、2013年12月末には85拠点体制となりました。また、主力の福祉用具のレンタルに加え、福祉用具等の販売でも、引き続き好調を維持し、大幅な伸びを示しました。このほか、取扱商品につきましては、顧客ニーズに合わせて新商品の導入を推進し、品揃えの強化を図ると共に、福祉用具のレンタル需要に応じてベッドや車いすのほか、歩行器や床ずれ防止用具などレンタル資産の購入を積極的に行ってまいりました。

当社子会社を中心となって事業展開する在宅介護サービス事業につきましては、小規模多機能型居宅介護や通所介護、訪問看護等、地域に応じた複合的な在宅介護サービスを提供し、コア事業である福祉用具サプライ事業とのシナジーを重視した事業を展開してまいりました。

このほか、次なる事業領域の拡充として、2013年5月に開設した通所介護事業所向けポータルサイト「けあピアforデイ」につきましては、管理栄養士の監修による「高齢者にやさしい献立」の公開や、デイサービスを中心とした事業所向け物販として、食事サービスを開始するなど、サイトの充実を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が8,015百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益が836百万円（前年同四半期比13.9%減）、経常利益が849百万円（前年同四半期比13.7%減）、四半期純利益が461百万円（前年同四半期比21.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ160百万円減少し、12,633百万円となりました。主な要因は、流動資産の有価証券99百万円増加、レンタル未収入金90百万円増加、短期貸付金1,300百万円減少、現金及び預金313百万円減少、固定資産のレンタル資産（純額）1,232百万円増加等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ262百万円減少し、2,998百万円となりました。主な要因は、流動負債の未払法人税等228百万円減少、賞与引当金61百万円減少等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、9,635百万円となりました。主な要因は、四半期純利益461百万円の計上による増加、配当金341百万円による減少、少数株主持分16百万円減少等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末の74.0%から1.9ポイント増加し75.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年3月期通期の連結業績予想といたしましては、当第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、現時点におきましても、事業環境の大きな変化を想定していないことから、売上高は10,600百万円、営業利益は1,250百万円、経常利益は1,260百万円、当期純利益は700百万円を見込んでおり、2013年5月7日付「平成25年3月期決算短信」に記載の予想に変更はありません。

業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。今後の国内外の経済情勢、事業運営における状況の変化、見通しに内在する様々な要素や潜在リスク等の要因により、結果的に実際の業績が見通しと大きく異なることがあります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,216,791	903,157
売掛金	224,451	226,276
レンタル未収入金	1,047,377	1,137,677
有価証券	2,199,822	2,299,804
商品	10,705	13,905
貯蔵品	34,368	39,461
短期貸付金	1,501,800	201,050
その他	422,034	476,409
貸倒引当金	△56,900	△56,930
流動資産合計	6,600,451	5,240,811
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	4,817,680	6,050,627
その他(純額)	637,333	591,035
有形固定資産合計	5,455,013	6,641,663
無形固定資産		
のれん	167	30
その他	157,972	149,113
無形固定資産合計	158,139	149,143
投資その他の資産		
投資その他の資産	581,172	602,938
貸倒引当金	△650	△650
投資その他の資産合計	580,522	602,288
固定資産合計	6,193,676	7,393,095
繰延資産	18	—
資産合計	12,794,145	12,633,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	238,600	255,784
レンタル資産購入未払金	922,297	914,229
未払法人税等	346,280	118,033
賞与引当金	129,019	67,401
レンタル資産保守引当金	482,500	550,700
その他	477,530	422,673
流動負債合計	2,596,228	2,328,822
固定負債		
退職給付引当金	497,988	523,112
役員退職慰労引当金	17,528	6,890
その他	149,848	139,811
固定負債合計	665,364	669,814
負債合計	3,261,592	2,998,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,897,650	2,897,650
資本剰余金	1,641,650	1,641,650
利益剰余金	5,349,363	5,468,576
自己株式	△414,799	△414,799
株主資本合計	9,473,864	9,593,077
少数株主持分	58,688	42,193
純資産合計	9,532,553	9,635,270
負債純資産合計	12,794,145	12,633,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
売上高	7,197,340	8,015,735
売上原価	4,012,249	4,766,411
売上総利益	3,185,091	3,249,324
販売費及び一般管理費	2,213,670	2,413,182
営業利益	971,420	836,142
営業外収益		
受取利息	3,851	2,767
受取配当金	2,270	3,095
持分法による投資利益	1,354	3,042
雑収入	7,409	4,716
営業外収益合計	14,884	13,622
営業外費用		
為替差損	831	—
雑損失	421	51
営業外費用合計	1,253	51
経常利益	985,052	849,713
特別利益		
固定資産売却益	—	35
子会社株式売却益	13,888	—
移転補償金	51,280	—
特別利益合計	65,168	35
特別損失		
固定資産除却損	2,400	509
子会社株式売却損	—	1,667
特別損失合計	2,400	2,177
税金等調整前四半期純利益	1,047,820	847,570
法人税等	453,349	384,528
少数株主損益調整前四半期純利益	594,470	463,041
少数株主利益	4,445	1,167
四半期純利益	590,025	461,874

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	594,470	463,041
四半期包括利益	594,470	463,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	590,025	461,874
少数株主に係る四半期包括利益	4,445	1,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。